

平成 2 9 年 第 1 6 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 9 年 8 月 2 2 日（火）午後 1 時

場 所：教育委員会室

教育長	白 井 正三郎
教育長職務代理者	松 原 秀 成
委員	石 井 正 治
委員	古 卷 勲
委員	上 野 操

事務局	教育推進課長	柴 田 靖 弘
	学務課長	川 勝 賢 治
	指導室長兼教育研究所長	市 川 茂
	学校施設担当課長	高 橋 和 彦

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	岡 田 隆 史
	同 主査	栗 間 大 介

白井教育長	<p>開 会 時 刻 午後 1 時</p> <p>ただいまから、平成 29 年第 16 回教育委員会定例会を開催します。 本日は、傍聴のお申し出がございました。傍聴人規則により、抽せんにより 20 名選出いたしましたので、入室を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、傍聴人の方の入室を許可いたします。</p> <p>〔傍聴人入室〕</p>
教 育 長	<p>それでは、始めさせていただきます。</p> <p>日程第 1、署名委員を決定します。松原委員と古巻委員をお願いいたします。</p> <p>続いて日程第 2、議案の審議にまいります。</p> <p>第 36 号議案、平成 30 年度小学校教科用図書「特別の教科 道徳」の採択についてを審議いたします。</p> <p>平成 30 年、31 年度江戸川区立小学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択を行います。</p> <p>江戸川区教育委員会におきまして「『特別の教科 道徳』における江戸川区教科用図書採択のための調査研究に関する要領」及び「『特別の教科 道徳』における江戸川区教科用図書採択のための調査研究に関する細目」に基づき、教科用図書選定資料検討委員会において、十分に検討していただきました。</p> <p>各教育委員の皆さんには、教科用図書選定資料検討委員会の報告、区民の方々の意見及び各小学校からの調査・研究報告書などについても参考にしていただきながら、全ての教科書について時間をかけてじっくりご検討いただいております。</p> <p>本日は、教育委員会の皆さんが出版社ごとに比較検討された結果を踏まえ、ご審議をお願いしたいと思います。</p> <p>さて、本日、採択を行う教科書は、全て文部科学省検定済教科書であります。「特別の教科 道徳」の教科書、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきの 8 社であります。</p>

教 育 長	<p>それでは、審議をお願いいたしますが、まずは総合的な観点から、皆さんが感じになられたということをお話しいただきたく思います。どなたかがでしょうか。</p>
石 井 委 員	<p>学習指導要領におきましては、「特別の教科 道徳」の時間では、教科書や資料を中心に深く考え議論することが重要となっております。この点を踏まえまして、まずは教科書の特徴を確認したいと思います。</p> <p>東京書籍は巻頭で、道徳の時間が始まるよと言い出しまして、話し合いの仕方などがわかりやすく記載していると思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。私も、もちろん東京書籍、読ませていただきましたけども、気づきとか考える、話し合う、振り返る、見つめる、生かす、この流れが大事なところに確かに書かれていたと覚えております。</p> <p>他にいかがでございますでしょうか。</p>
古 巻 委 員	<p>私は、ちょっと分冊のことにちょっと触れたいと思うんですけども、学校図書、それから日本文教出版、廣済堂あかつき、これはいわゆるなんていうんですかね、読み物の冊子と違いまして、分冊がノートの役割を果たしていると。こういう形ですね。</p> <p>子どもたちが自分の考えをこうして述べていくという意味では、大変、記載する欄というものが充実をしておるということでは結構だと思います。学習を進めていくという、そういう部分では自分の考えをまとめやすいというか、まとめていくという。</p> <p>それから、もう一つは、教育出版の各題材の巻末にこれを教える側の教師、先生がどういう形で質問したらいいかということが記載してあると。これは、先生が授業を進める上では非常にありがたいというか、羅針盤になるんじゃないかなということを感じました。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。確かに今、お話しいただきましたけど、3社ですかね、分冊になっている教科書だったと思います。今、教育出版のお話しされましたけど、学びの手引きですかね。そこのところで、質問などが割合と多く項目が載っていたなというふうに思います。</p> <p>他にはいかがでございますか。</p>

松原委員	<p>私は、ちょっとサイズで見てみたんですけども、光文書院と学研教育みらいですね。サイズがちょっと大きくなっておりまして、記載されている絵とか写真が大きくなっておりますので、子どもたちが話し合いをする上で、それぞれの場面を理解しやすいのかなというふうには思いました。</p> <p>また、光村図書は、考えようというコーナーが設けてありまして、これも子どもたちが、児童が考えていく内容が示されておりまして、考える、話し合うという活動に取り組みやすいのではないかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。教科書のサイズも、確かに、皆さんにも全部お読みいただいておりますけど、さまざまになっているわけでありまして。光村図書の「考えよう」というお話でございます。考えよう、つなげようと、このようにコーナーがつくられて、そういうふうにあるようでございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
上野委員	<p>教育長が挙げた8社、全てがおっしゃるように文部科学省の検定を通っているわけですので、道徳の教育で重要とされている4項目を全てきちんと網羅されておると、その点では私は、甲乙つけがたいのではないかなというふうに思います。ですから、私は、道徳の教科書としては、むしろ体裁や形式面よりも本質、あるいは、内容面のほうを重要視して評価すべきではないかなと、基本的にはそう考えています。</p>
教育長	<p>なるほど。今、上野委員から体裁、形式面より、本質、内容面を重視したいというご意見ございました。そういうご意見があったわけでございますが、今、各教科書ともいろいろな工夫がされておりますので、最初は体裁、形式面から皆さんのご意見をとっております。先ほど、古巻委員でしょうか。分冊の話されましたが、分冊といった視点で、ご意見ございましたらお願いしたいと思います。</p>
古巻委員	<p>確かに分冊、また3社が分冊を作成していると思っておりますけども、非常になんていいですか、1年間の自分の成長の軌跡とか、そういうものがよくわかるといいですか。自分でチェックができるという、そういう部分では大変に素晴らしいと思う反面、やっぱり分冊で題材ごとに記入する箇所が結構ありますので、授業でもって果たして記入することが、いわゆる書く作業といいますかね、そういうことに追われて、授業そのものがなんかおろそかになる</p>

<p>教 育 長</p>	<p>とはいいませんが、そちらのほうに視点が行っちゃうような気がして、ちょっとこの辺が気にはなったところですね。</p>
<p>石 井 委 員</p>	<p>確かに今、ご心配いただいているような点もあるかもしれないですね。このような点で何かございますか。</p> <p>授業におきましては、記録を残すということはとても大切なことだと思います。</p> <p>ですが、記録よりも子どもたちが議論をする、議論をすることを楽しみにする、こういうような授業を展開するということが大事だと思いますし、そういうような授業を展開してほしいと考えております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今、お二人のご意見いただきましたけど、書く作業、それから記録するという作業で、ちょっと時間をとってしまうんじゃないかというような点が気にかかるというようなお話だったと思いますし、その他の時間をもっと使っただけならということだったんですかね。そんなご意見でございますが、いかがでしょう。</p>
<p>松 原 委 員</p>	<p>石井委員と同じように、私も同感でございます。さらに言えば、分冊にあるようなワークシートなんですけども、私はこれは先生方が、それぞれにおきまして、子どもたちに合った、実態に即したといいましょうか、工夫を、創作をして作成してほしいなど、そんなふうに思っているところなんです。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ありがとうございます。またちょっと違った視点で一つお話が出ましたけども、先生方の創意工夫を妨げないようにしていきたい、とのご意見だったと思いますけども、他に分冊というところでご意見ありましたら。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>その点については、皆様のご意見とほぼ同じでございますが、いわゆる教育長が言った学習面から言いますと、子どもたちが題材を通して問題の本質を考え、さらにそれをお互いに話し合いながら理解を深めていくという、いわゆるプロセスが大切だと思うんですね。そして、そのためには各自の考え方を書いて整理するということが確かに有効なことだと思いますが、ただ、皆さんおっしゃるように余り書く時間に割かれて、話し合う時間が確保できなくなるとすれば問題だとは思いますが。</p>

教 育 長	大分ご心配の点が出ておりますが、他にありますか。
松 原 委 員	<p>先ほど、石井委員さんがおっしゃっておられましたけども、人として大切である道徳的な価値ですね、これは子どもたちに身につけさせるためになんですけども、教材にある主人公の思いとか考え、これは授業の中で考えたり話し合ったりする。今、上野委員さんがおっしゃいましたけれど、それは大事だというふうに思うんですね。</p> <p>ですから、既存のノートなどをそのままを使うよりも、私は子どもたちの実態に踏まえて、各先生が柔軟に指導を行うことが望ましいと、私もそう思っております。</p>
教 育 長	<p>今、皆さんから、この点でいろいろご意見いただきましたけど、いわゆる分冊がある教科書は書いたり記録したりして、書く時間などに議論させるというのでしょうか。話し合う時間が割かれてしまう心配があるというのが一点でしょうか。</p> <p>もう一点は、今お話いただいた既存のノートを使うより生徒たちに合わせて工夫して、柔軟に指導したほうがいいんじゃないかというご意見が出たように思います。</p> <p>合わせますと、どうも分冊の教科書、扱いが難しいんじゃないかということのように思いますが、それで皆さんよろしいですか。</p> <p>〔賛同の声あり〕</p>
教 育 長	<p>わかりました。ということで、分冊の話はここまでにさせていただきたいと思っております。</p> <p>そこで、次の視点といたしまして、今度は各社が取り上げている題材、さっき上野委員から少しお話がありましたが、今度は題材について、ご意見がございましたらお願いしたいというふうに思っております。</p>
上 野 委 員	<p>私が先ほど申しましたように内容面から言いますと、光村図書は題材を1年生から6年生へと系統的に取り上げて、次第に道徳の内容を深めながら質を高めていくと申しますか、そういうふうな方法をとっていると思います。</p> <p>特に6年生の教科書では、冒頭に世界人権宣言というものが載っているんですね。そして、これは道徳の本質である人権尊重の普遍性と社会的規範性といえますか、これを認識させていくという、ある意味では非常にグローバ</p>

教 育 長	<p>ルな視点がいいんじゃないかなと思いますけどね。</p> <p>今、私の手元にあるんですけど、これ谷川俊太郎さんが訳した文章で、世界人権宣言のことがここに書かれているんですね。そのようなことでございますが、他にご意見ありましたらお願いいたします。</p>
石 井 委 員	<p>光文書院を取り上げたいのですが、光文書院は道德教育の主な4観点、自分自身に関する事、そして人とのかかわりに関する事、集団や社会に関する事、生命や自然、崇高なものとのかかわりに関する事、これら四つの観点をバランスよくそろえて題材とされていると思います。</p>
教 育 長	<p>そうですね。私のところにもありますが、目次にマークつけているんですね。それでわかりやすくしているということでございます。他の教科書も皆さん、全部読まれているんですけど、他の教科書も、こういうふうにやっているところはたしかあったような気はいたしました。</p> <p>他にございますか。</p>
古 巻 委 員	<p>今、石井先生おっしゃったようないわゆる四つの観点、自分自身に関する事、人とのかかわり、集団社会に関する、生命、自然、それが道德の教科書の4つの柱でございますけども、東京書籍が非常に各観点ごと、4つの観点ごとに目次をつけていまして、題材の構成が非常にわかりやすいなというふうには思いました。</p> <p>それとあと、学研さんの学研教育みらい、題材一つ一つは大変すばらしいんですけども、これはちょっと私の個人的なところであるけども、他の出版社と比べまして、ちょっと写真とかイラストが大きいんじゃないかなという気がしまして、むしろそちらに注目が行ってそうな気もしないではないということで、授業の狙いから言うとどうなのかなという感想をちょっと抱きました。</p>
教 育 長	<p>学研教育みらいさんは大判なんですね。確かに写真とか絵が大きいので、そういうご心配があるのかもかもしれませんね。</p> <p>他にはいかがですか。</p>
上 野 委 員	<p>私は、いわゆる人間、いかに生きるべきかとか、人間、何をなすべきなんだろう、そういう道德観、倫理観というものは、子どもたちは成長をして</p>

	<p>いく過程で各々の社会生活上から生ずる深い感動というものに出会う、そういうところから育まれていくものではないかなと、そういうふうに思っています。その意味では、教育出版は、歴史的な実在人物を比較的多く取り入れながら、各々その人物の現実の生き方を示して、そこから人間としての琴線に触れる感動を与えているだろうという、そういう実例を多く取り上げていると思います。</p> <p>そういう点で、私は教育出版を評価したいと思います。</p>
教 育 長	<p>上野委員は、先ほどから形式とか本の大きさとかそういうことよりは、本質の内容面ということで、今、感動とかそういうことのご意見だというふうに思います。</p>
上 野 委 員	<p>形式、体裁を無視するということでは……。</p>
教 育 長	<p>そうですね。無視しているわけではない。それより重視するのはもっと中身の本質とか内容面だろうということでお話しいただいていました。</p> <p>皆さんから題材についてのご意見聞きますと、いろいろ教科書ごとに工夫なさっているなということは、それがこの中でいいか悪いかは別でございますが、工夫なさっているなということはわかるところでございます。</p> <p>その題材がよかったりするのですが、これを今度は授業などでどのように取り扱っていくかというのが、実際に非常に重要になってくると思います。取り扱いやすさというのか、そういうことも含めてご意見があったらお願いしたいと思います。</p>
松 原 委 員	<p>そのとおりだと思います。したがって、それぞれの題材の中で、どのような話し合いや活動をすればよいか教科書の中で明確になっていることが重要だと思います。それで、冒頭に古巻委員もおっしゃっていましたけれども、教育出版は、各題材の最初の子どもたちへの投げかけが、子どもたちの多様な考え方を導き出せるようになっていきます。また、スキルとジャンプといったコーナーを設けており、話し合いや役割演技なども、多様な学びを取り入れることができるんじゃないかと、このように思います。</p>
教 育 長	<p>スキルとジャンプということで、確かに今、松原委員がスキルというのは体験を通して人間としての行動について考えを深めますと書いてありますよね。そんな点をご評価いただいたと思いますが、優れているかなというふう</p>

	<p>にも思います。</p> <p>他に、他の教科書でもご意見ありますでしょうか。</p>
石井委員	<p>光文書院なのですが、光文書院は、読み物の初めに、子どもたちに考えてもらいたいことを質問形式で記載しております。このような格好にすることで、自分自身と教科書の中の登場人物等を対比させながら読み進めることができるものと思います。加えまして、注釈による学びのヒントは、それも充実しているのもよいかと思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。そうですね。</p>
古巻委員	<p>光村図書なのですが、光村図書は題材ごとに、題材の終わりに考えようとかつなげようというのが毎回入っているんですね。これは考えるだけじゃないんだよ、行動が大事だよということを子どもたちに教えているところで、考えたことをどのように行動に移すかということをし合っていくということを大変重視しているという意味では、とてもいいのかなというふうに思いました。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。今、いろいろ、今まで総合的な感想をいただいたり、体裁、形式面のお話いただいたり、取り上げられている題材でしょうか。それから、授業の中でどういうふうに取り扱っていくかなどの視点からご意見いただきましたけども、全般的に見てご意見がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。</p>
松原委員	<p>もう少し述べさせていただきたいと思います。光村図書と教育出版については、問題解決的な学びが非常に充実していると思います。読む道徳から考える道徳へと、次期学習指導要領の趣旨が反映されておりまして、素晴らしいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
上野委員	<p>私も松原委員と、その点、同感です。既に私は、光村図書と教育出版を挙げていますけれども、この2社は、題材も内容も深く充実していると思いますし、感動する内容が多く盛り込まれていると思います。ちょっと余談になるかもしれませんが、例えば、私は保護者の方々にこれを読んでいただいて、家庭で子どもさんたちと話し合いをともにするというふうにしてもらったら</p>

<p>教 育 長</p>	<p>いいんじゃないかなと、そういう教科書であるなというふうに思いますね。</p> <p>なお、教育出版は、のぼり祭りや獅子もみ行事というように、たまたまかどうか、江戸川区の地域性に触れていることにちょっと印象が残っております。</p> <p>そうですね。私ものぼり祭りとか獅子もみは江戸川区だなと思って見ていましたけど、今、お二人の総合的なお話として、中身中心のお話だと思いますが、光村図書と教育出版の良さのよき印象についてお話をいただきましたけども、他にご意見ありますでしょうか。</p>
<p>古 巻 委 員</p>	<p>今、教育長おっしゃった光村図書と教育出版の教科書なんですけども、今もおっしゃったので、ちょっと改めてちら読みですがしたのですけども、光村図書は大変読み応えがあるという感じがいたします。大変すばらしいんですけども、一つ一つの題材の文章の長さといいますが、文章量がちょっと気になりますね。</p> <p>やっぱり授業ですので、読むことももちろん大事なんですけども、生徒、子どもたちの中には読むことになれている子もいるし、それから、若干そうでない子どもたちもいるし、そうでない子どもたちにとっては、読むこと自体に負担がかかっちゃって、本来は道徳の授業そのものに対する臨み方がどうなのかなということで、読むにはいいんですけども、ちょっと両者、教育出版と光村図書を比較すると、道徳という授業の観点からでは、光村図書のほうがちょっとどうなのかなと、二つに一つということで考えると、そんな感じがいたしました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>全ての教科書ともに非常にすばらしいんですけど、だんだん収縮して話をしなくてはいけないのですが、江戸川区の子どもたち、小学生3万5,000人、大体いるのですが、今、古巻委員が言っているように、確かに読むのになれていないというか、そういう子に読むのになれてもらいたいとは思いますが、国語の授業ではない、道徳だというふうに考えますと、今、そのようなご心配いただいたようなことも考え方、どうかなというふうに思います。</p> <p>他にいかがでございますか。</p>
<p>石 井 委 員</p>	<p>私も実際そう思います。小学校の授業は45分が基本なのですが、時として短縮授業40分なんていうようなこともあるわけでございます。そうした授業の中で、読むことにたくさんの時間が割かれてしまって、子どもたちが</p>

<p>教 育 長</p>	<p>意見を交わす時間が減ってしまうというようなことがもしあるとするとそれは問題かなと思います。</p> <p>一番最初、分冊のところで、書く時間とか記録する時間に時間が割かれちゃうんじゃないかというお話があって、今、加えて、読む時間にちょっと時間が割かれてしまうのは、石井委員が言ったように意見を交わす時間がそれによって減ってしまうのはいかが、ということだったというふうに思いますが、このような視点も含めてご意見ありましたらお願いいたします。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>もう私は、何回も同じ意見言っているのですが、今までいいんじゃないかと思っていた光村図書と教育出版、私は題材の内容も大変充実しているし、適切であると繰り返し言いますが、思います。</p> <p>子どもたちにとっても、それから教師側にとっても、いわゆる考え議論する、これからの道徳の学習を進める上で活用しやすいのではないかと思うんです。</p> <p>そういう意味で、非常に悩ましいですよ。どちらか一つを選ぶというのは。そういうことではっきり言って甲乙はつけがたいのですが、前述した道徳教育の本質、内容面から見ますと、やはり教育出版のほうを選択したいなというふうに思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ただいま、上野委員から今までの議論の中で、最終的に本質、内容面から見て、教育出版を選択される、というご意見ございましたが、他の委員さん、いかがでございましょうか。何かご意見ありましたらお願いいたします。</p>
<p>松 原 委 員</p>	<p>私も長年に渡って学校の教員をやっておりましたが、その経験からちょっと述べさせていただきたいと思います。</p> <p>教育出版は題材数が絞られておまして、教科書以外の資料を使った授業もしやすい、というふうに思うんですね。ですから、そういう点で先生方が、それぞれ子どもの実態に合わせて創意工夫ができるので、共感が持てると思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今、松原委員、題材数が絞られているというのですが、35じゃなくてもっと少ないんですね。29でしたかね。</p>
<p>松 原 委 員</p>	<p>補助資料が入っていますので、35になるんですね。</p>

教 育 長	<p>それが、先生としては、かえってしやすいんじゃないかということですね。全部で35コマですのでね。というような先生方が工夫しやすく、というようなお話をいただきました。そのような視点からも教育出版に共感持てるんですというご意見だったんですけども、どうでしょうか。他の皆さん。今、二人お話しいただきましたが。</p>
古 巻 委 員	<p>先程来、上野先生が悩ましいとおっしゃっているんですけど、私も悩ましくて、8社の教科書を読ませていただきながら、大変よくできていますし、皆さん、とてもいいんですけども、いずれにしても決め事ですので、最後は絞っていかなきゃいけないかなという観点もいろいろと考えまして、今、松原先生おっしゃったように、まず、教える側の先生が子どもたちのレベルといますか、実態、そういうものに合わせながら道徳の授業を進めていくというかつくり上げていく、そういうことが非常にできるという意味では、これは本当に甲乙つけがたいんですけども、1社に絞るということでしたら、私も教育出版のほうがいいのではないかなというふうに思いました。</p>
教 育 長	<p>皆さん、とても悩ましいということをご意見をいただいて、いろいろなご意見の中でどちらかということだと思いますが、皆さんのご意見を伺って、私の考えもあわせると、最終的に授業での工夫しやすさとか構成、分量、それから題材の内容ですかね。あとは学習指導要領の対応等々見て、総合的に教育出版がよいように思います。</p> <p>この議論していますと、幾ら時間があっても足りませんので、一応、皆さんも議論出尽くしているかもしれませんので、特になければ、「特別の教科道徳」の教科書につきましては、今回、教育出版を採択しようと思いますが、委員の皆さん、いかがでございましょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。石井委員もよろしいですか。</p> <p>それでは、4人の委員さん、または私も含めまして、異議がございませんので、「特別の教科道徳」の教科書については、教育出版とさせていただきます。この議案につきましては以上でございます。</p> <p>それでは、議案が終わったところでございますので、一旦休憩をさせていただきます。</p>

	<p>(休憩)</p> <p>再開 午後1時40分</p>
教 育 長	<p>それでは、続いて日程第3、教育関係事務報告にまいります。 教育委員会後援名義の使用承認についての報告をお願いします。3件分ございますので、一通り説明をお願いいたします。</p>
柴 田 教育推進課長	<p>教育委員会後援名義の使用承認について、教育推進課から3点、ご報告を申し上げます。</p> <p>1点目は、第45回江戸川区吹奏楽連盟定期演奏会、申請者は、連盟理事長でございます。</p> <p>事業の目的でございますが、区内における吹奏楽の振興、音楽文化の向上を目指し、区内吹奏楽団体が一堂に会して演奏会を行うということでございます。出演団体の予定が12団体ということで、そちらに米印、昨年度は中学校4校が出演をしているということです。</p> <p>実施日時でございますが、平成29年9月17日、日曜日、10時から文化センター大ホールにおきまして、一般区民を対象に行うところです。入場料は無料、賞状等もこれはございません。教育委員会としては40回目、同様に江戸川区の後援名義の申請もされております。</p> <p>2点目でございます。第63回書初展。申請者は小岩書道連盟理事長。事業目的でございますが、書道の振興を図り、もって情操と文化の向上発展に資することを目的とするということです。昨年度の出品数としまして、一般高校生以上が132名、教育部、中学生以下が574名ということです。</p> <p>平成30年2月17日、土曜日、18日の日曜日にわたって、小岩アーバンプラザ、一般区民を対象に行われます。経費の徴収でございますが、出品料といたしまして、一般部が3,500円、教育部が800円。観覧入場は無料となっております。賞状、副賞といたしまして、教育委員会賞の賞状の提供があります。教育委員会では62回目の後援名義の申請、同じく江戸川区の後援名義の申請をされております。</p> <p>3点目でございます。第52回江戸川区PTAコーラス交歓会、申請者はPTAコーラス実行委員会委員長でございます。事業目的は、各学校の日ごろの活動の成果を発表し、互いに交流、親睦を深める。一般の方に聞いていただくことで地域との交流を図るということです。</p> <p>出演団体予定でございますが、14団体。平成29年11月5日、日曜日、</p>

	<p>13時より文化センター小ホールにおいて、一般区民を対象に行うということです。入場料等は無料となっております。37回目の教育委員会の後援名義になってございます。</p> <p>お手元に吹奏楽の連盟の定期演奏会、前回のプログラム。それから、書初展につきましては、今回、第63回の作品募集規定、そして、PTAコーラスにつきましては、昨年度の交歓会のプログラムの写しをおつけしております。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。この3件につきまして、ご質問、ご意見ございましたらよろしく願いたいします。</p>
古 巻 委 員	<p>これは三つとも覇を競う、というものではないんですね。そういう優勝がどこだとかそういうものではないですね。</p>
教育推進課長	<p>こちらのまず、プログラムのほう、最初の吹奏楽連盟のほうは、日ごろのこういった活動、交流を含めて、このような形で行うことで、特に何とか賞とかそういったものはございません。書初展につきましては、作品の写しがございますけれども、教育委員会賞というような賞状も出させていただきますが、表彰式ということで、それぞれ賞につきましては初日、2月17日の日に表彰式を行うということになってございます。教育委員会賞もでございます。3点目は、これは皆さん、日ごろの活動の中で発表し合うようなことで、特にコンクールというようなことではございません。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。古巻委員。</p>
古 巻 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>小岩アーバンプラザの小岩書道連盟、すごくいっぱい作品が出てくるんですね。すごいんですね。いっぱい。表彰式に出るんですね。私たちは、いかがでございましょうか。よろしいですか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>

教 育 長	<p>なければ、報告事項を了承させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、平成29年第16回教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>閉 会 時 刻 午後1時47分</p> <p>以上のとおり、会議の顛末をここに要約し、内容確認のうえ署名します。</p> <p>教 育 長 白 井 正三郎</p> <p>署 名 委 員 松 原 秀 成</p> <p>署 名 委 員 古 卷 勲</p>
-------	---